

第 519 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2024 年 2 月 5 日（月） 13 時 30 分～16 時 50 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 2024 年 1 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告
- (2) 企業会計基準適用指針公開草案「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針（案）」等に寄せられたコメントへの対応
- (3) 実務対応報告公開草案「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い（案）」等に寄せられたコメントへの対応
- (4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発
- (5) 公開草案「中間財務諸表に関する会計基準（案）」等に寄せられたコメントへの対応
- (6) 上場企業等が保有するベンチャーキャピタル（VC）ファンドの出資持分に係る会計上の取扱い
- (7) 継続企業及び後発事象に関する実務指針等の移管に係る調査研究
- (8) 公開草案「リースに関する会計基準（案）」等に寄せられたコメントへの対応

（報告事項）

- (1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「気候関連コミットメント（IAS 第 37 号『引当金、偶発負債及び偶発資産』）」及び「報告セグメントに係る収益及び費用の開示（IFRS 第 8 号『事業セグメント』）」に対するコメント

本企業会計基準委員会は、一般の傍聴は Zoom ウェビナーを利用して実施した。

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 2024 年 1 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告

川西委員長より、2024 年 1 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の議事について報告がなされ、審議が行われた。

- (2) 企業会計基準適用指針公開草案「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針（案）」等に寄せられたコメントへの対応

紙谷副委員長及び富田専門研究員より、次の事項について説明がなされ、第 111 回企業結合専門委員会（2024 年 1 月 22 日開催）及び第 112 回企業結合専門委員会（2024 年 1 月 31 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- ① 企業会計基準適用指針公開草案「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針（案）」等に寄せられたコメントへの対応案
- ② 日本公認会計士協会の会計制度委員会報告第 7 号「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」の改正案に寄せられたコメントへの対応案

- (3) 実務対応報告公開草案「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に

関する取扱い（案）」等に寄せられたコメントへの対応

中條常勤委員及び大竹専門研究員より、次の事項について説明がなされ、第 90 回税効果会計専門委員会（2024 年 1 月 22 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- ① 実務対応報告公開草案「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い（案）」（以下「本公開草案」という。）に寄せられた四半期財務諸表における注記に関するコメントへの対応
- ② 本公開草案及び補足文書（案）「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等に関する適用初年度の見積りについて（案）」に寄せられた主なコメント及びその対応案
- ③ 補足文書「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等に関する見積りについて」の文案

(4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発

紙谷副委員長、伊藤(修)専門研究員及び中西専門研究員より、ステップ 4 を採用する金融機関における複数シナリオの考慮を含めた結果の確率加重及び実効金利法に関連する論点について説明がなされ、第 211 回金融商品専門委員会（2024 年 1 月 29 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) 公開草案「中間財務諸表に関する会計基準（案）」等に寄せられたコメントへの対応

中條常勤委員及び山田専門研究員より、企業会計基準公開草案「中間財務諸表に関する会計基準（案）」及び企業会計基準適用指針公開草案「中間財務諸表に関する会計基準の適用指針（案）」に寄せられたコメント及びその対応案について説明がなされ、審議が行われた。

(6) 上場企業等が保有するベンチャーキャピタル（VC）ファンドの出資持分に係る会計上の取扱い

紙谷副委員長、伊藤(修)専門研究員及び山本(智)専門研究員より、今回検討している会計処理の対象となる VC ファンドに相当する組合等の定義について説明がなされ、第 211 回金融商品専門委員会（2024 年 1 月 29 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(7) 継続企業及び後発事象に関する実務指針等の移管に係る調査研究

紙谷副委員長、越智ディレクター、大竹専門研究員及び平本専門研究員より、「継続企業及び後発事象に関する調査研究」の文案について説明がなされ、審議が行われた。

(8) 公開草案「リースに関する会計基準（案）」等に寄せられたコメントへの対応

紙谷副委員長及び村瀬アシスタント・ディレクターより、公開草案「リースに関する会計基準（案）」等に寄せられたコメントのうち、審議の進行状況を受け、当日予定していた審議事項のうち、質問 2（開発にあたっての基本的な方針（貸手の会計処理））及び質問 17（ファイナンス・リース）に寄せられたコメントに関連する「貸手の基本となる会計処理（会計処理及び文案の検討）」について説明がなされ、第 142 回リース会計専門委員会（2024 年 1 月 30 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

（報告事項）

(1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「気候関連コミットメント（IAS 第 37 号『引当金、偶発負債及び偶発資産』）」及び「報告セグメントに係る収益及び費用の開示（IFRS 第 8 号『事業セグメント』）」に対するコメント

IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「気候関連コミットメント（IAS 第 37 号『引当金、偶発負債及び偶発資産』）」及び「報告セグメントに係る収益及び費用の開示（IFRS 第 8 号『事業セグメント』）」に対するコメントについて、書面により審議を行い提出したことが報告され

